
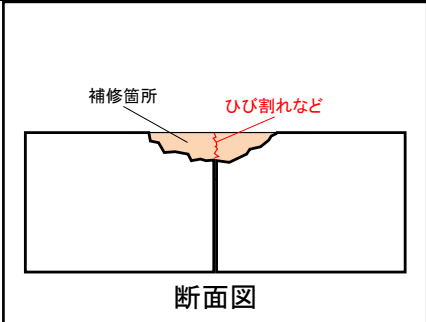
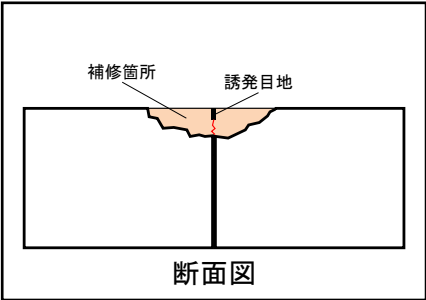
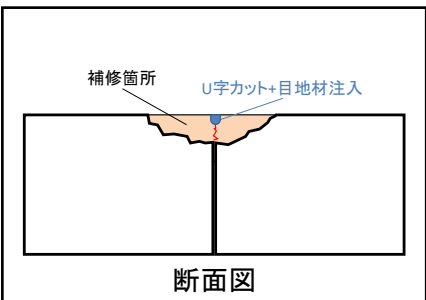


発生箇所	①縦目地, ②横目地
分類	維持修繕
参考箇所	9-3-1(4) 隅角ひび割れ
<p><b>●内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート版隅角部の角欠けをパッチングにより補修した箇所について, 目地に沿ってひび割れが生じた。</li> </ul>	
<p><b>●原因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目地を跨いだ補修材が縦目地部の反りや横目地部の伸縮に追従できずに破損した。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>
<p><b>●発生防止策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隅角部の目地を跨いだ角欠け補修を行う場合は, コンクリート版の目地に沿ってカットなどで予め誘発目地を設け, 目地を跨いで独立させる。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>
<p><b>●発生した場合の対応策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補修箇所のひび割れが軽度である場合は, ひび割れ箇所をU字またはV字にカットし, 目地材を注入する。</li> <li>・補修箇所のひび割れが重度(全面に入っている)である場合は, 再度パッチングによる補修を行う。この際, コンクリート版の目地に沿ってカットなどで予め誘発目地を設け, 目地を跨いで独立させる。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>